

## 事業シート

事業名	管理運営費（入間市文化創造アトリエ）	事業開始年度	平成12年度
上位施策事業名	文化創造アトリエ費	担当局・部名	市民生活部
根拠法令等	入間市文化創造アトリエ条例、入間市文化創造アトリエ条例施行規則	担当課・担当名	地域振興課・文化交流担当
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	須田 英樹
実施の背景	市民自らが音楽、演劇等の文化活動の練習、発表及び交流並びに地域産業の理解及び振興を図る場を提供することにより、地域に根ざした文化創造に資するため、平成12年に行政主導で文化創造アトリエを設置した。市民の参画による自主的な運営を図ることを基本としており、住民自治の実験の場として開館した。 現在、市民会館が閉館しているため、住民が文化に触れる場や発信する場が減っていることや上記のような市民が自主的に運営に関わる施設は市内でも他に例がなく、市民だけでなく行政においても貴重な場となっている。		
目的 (何のために)	①文化活動の創出、発掘、発信及び市民文化の創造 ②地域産業の理解及び進行を図る場の提供 ③市民と行政による協働の実践の場 ④歴史的建造物としての保存及び活用		
対象 (誰・何を対象に)	全市民（地域住民、地域団体）	対象者数（全住民に対する割合）	
		全市民 人（100%）	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：特定非営利活動法人入間市文化創造ネットワーク）		
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）		
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
事業概要 事業内容 (手段、手法など)	事業内容		
	市民サービスの向上と施設の効率的な管理運営を目的に、指定管理者制度により管理運営を実施している。指定管理者は、市民を中心としたスタッフとプラン推進会議により事業計画を共有、協議し事業を実施している。市民自らが考え行動する入間の文化創造と情報発信の場とし、公の施設を市民が運営する市民自治の場とするという目的を達成するために、下記の事業を実施している。 ①「ひとづくり」事業：文化芸術に関心を持つ方、事業を実施するスタッフを育てる事業 ②「魅力づくり」事業：コンサートや落語など上質な文化芸術を市内で鑑賞する機会を提供する事業 ③「芽づくり」事業：将来の文化の担い手を育成するための継続事業や子どもをターゲットを対象とした事業 ④「まちづくり」事業：文化芸術を通じた地域との関係づくりのため、季節ごとのイベントなどにより施設をアピールする事業 ⑤「法人独自」事業：指定管理者が培ったノウハウを広く提供するため、市内地区センターや小中学校等での事業		
関連事業 (同一目的事業等)			

## 事業シート

事業名		管理運営費（入間市文化創造アトリエ）						事業開始年度		平成12年度	
		2025年度（予算）			2024年度（決算）			2023年度（決算）		2022年度（決算）	
事業費	事業費合計	50,549 千円			49,234 千円			97,083 千円		45,522 千円	
	事業費内訳 (2024年度分)	【委託料】 ・指定管理料：48,848,320円 ・LED照明導入に伴うリース料（2月～）：79,200円 【修繕料】 ・トイレ内ベビーチェア修繕料：204,380円 【保険料】 ・建物損害共済基金分担金：102,020円									
	人件費	担当正職員	1人	8,100千円	1人	8,100千円	1人	4,200千円	1人	4,200千円	
	臨時職員等	0人	0千円	0人	0千円	0人	0千円	0人	0千円		
	人件費合計	1人	8,100千円	1人	8,100千円	1人	4,200千円	1人	4,200千円		
総事業費		58,649 千円			57,334 千円			101,283 千円		49,722 千円	
財源内訳	国県支出金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円			
		国県支出金の内容									
	地方債	0 千円		0 千円		48,700 千円		0 千円			
	その他特財	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円			
		その他特財の内容									
	一般財源	58,649 千円		57,334 千円		52,583 千円		49,722 千円			
財源合計		58,649 千円			57,334 千円			101,283 千円		49,722 千円	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2024年度	2023年度	2022年度					
		施設利用者数	人	46,538	42,563	35,867					
		文化芸術に関心を持つ方やスタッフの育成事業参加者数	人	640	796	701					
	単位当たりコスト	総事業費	/	活動実績	円/人	1,215	2,336	1,360			
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	①市民の文化活動の拠点として、利用者を増やすことが重要であるため指標とした。 ②市民の参画による自主的な運営を図ることを目的としているため、事業運営への参加者数を指標とした。									
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2024年度	2023年度	2022年度					
		施設利用者数	人	46,538	42,563	35,867					
		文化芸術に関心を持つ方やスタッフの育成事業参加者数	人	640	796	701					

## 事業シート

事業名		管理運営費（入間市文化創造アトリエ）		事業開始年度	平成12年度
自己評価	<input type="checkbox"/> 廃止・凍結	<input type="checkbox"/> 国・県・広域・民間への移管	<input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 現行通り・拡充
評価の内容	<p>スタッフ等の育成事業参加者は年によって増減はあるものの一定の参加者数があり、市民の参画による自主的な運営を図る場及び市民と行政による協働の実践の場となっており、設立の目的を達成しつつある。</p> <p>常に地域に新しい提案をしていく姿勢で、市民に上質な文化芸術に触れる機会を幅広く提供している。市民ニーズを把握し、満足度の高い事業を効果的に展開していることから、施設利用者が年々増加しているものと考えられる。また、令和3年度に実施した指定管理者第三者評価では、市民とともに創り上げるプロセスを大切にしながら、多様な機関や団体とのネットワーク、市民ボランティアと連携する姿勢は、まさに公共施設運営の模範となるべきものと高い評価を受けている。このことから、指定管理料以上の成果をあげていると考えられるため、今後も現行通り、事業を継続していきたい。</p> <p>事業運営が円滑に進む一方で、施設の老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増加している。現在は、指定管理者が限られた予算の中で優先順位をつけて、安全な施設運営ができるよう十分な対応をしている。今後も予算内で修繕を行い、市民が安全に施設を利用できるように運営を継続する。</p>				
課題	2024年度	<p>ホール棟・ギャラリー棟には冷房設備の設置がされていない。開館当初は現在と比べて夏の気温は低く、アンティークな雰囲気や壊さないよう、あえて空調設備を設置せず、天井ファンを活用してきたが、近年の温暖化により、利用者から空調設備の設置について多く要望がある。しかし、空調設備を設置するには木製建具の窓や扉の改修、屋根や壁の断熱対策を行わなければならない不十分な結果になることが予想されるため、建物の魅力を維持しながら大規模な改修を行うこととなり、相当な費用がかかる。熱中症の危険もあるため、改修を行うか、夏季のみ利用を停止するなどの対策をするか検討が必要である。</p>			
	2025年度	<p>①空調設備の設置または施設の運営方法の変更等による暑さ対策 ②歴史ある建物であるため、構造や外観の保持に配慮しながら修繕を行い、現状は安全な施設運営ができてい。しかし、近年、施設の老朽化により修繕が必要な箇所の増加や物価及び人件費の高騰により費用が高額となっている。今後、限られた予算内かつ修繕のみでの対応が困難となる可能性が高いため、閉鎖の時期をどのように定めるか検討の必要がある。</p>			
今後の予定	<p>公共施設マネジメント推進課が入間市公共施設等総合管理計画及び入間市公共施設マネジメント事業計画により定めた、「施設整備は修繕を基本とし、長寿命化のための大規模改修は実施しない」という方針に従い、施設を安全に運営するために必要な修繕のみを行い、事業を継続する。</p> <p>市民参画により満足度の高い事業を行っている貴重な文化施設であるため、施設の維持と事業の継続をするとともに、建物の劣化状況を勘案し、今後、閉鎖時期も検討する。あわせて、閉鎖後のサービス提供や施設機能の代替を検討する必要がある。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>文化創造アトリエは昭和12年に繊維工業試験場として建設された歴史のある建物であり、市民自らが考え行動し、入間の文化創造と情報発信の場とし、公の施設を市民が運営する市民自治の場であることから、他自治体で類似の例はない。</p>				
特記事項					